

# 一般社団法人大阪タクシー協会 ご説明資料

令和5年11月16日

## ライドシェア有識者会議発言要旨

### 1. 安全安心の確保について

- ・ 日本のタクシーは海外と比べ安全で、人命を軽視した試行錯誤は容認できない。
- ・ タクシー事故件数は、参入規制撤廃で増加、労働規制強化で減少した過去がある。

### 2. 利用者利便の向上について

- ・ 運送業において副業の推進は、利用者保護の労働規制強化政策と矛盾する。
- ・ 副業による乗客輸送の需給調整が効かず、タクシーが衰退すれば選択肢が減少する。
- ・ タクシー協会は、配車アプリ導入を推進して利用者利便の向上に取り組んでいる。
- ・ 新大阪駅の乗車待ち行列は、乗車に要する時間を改善することで解決できる。

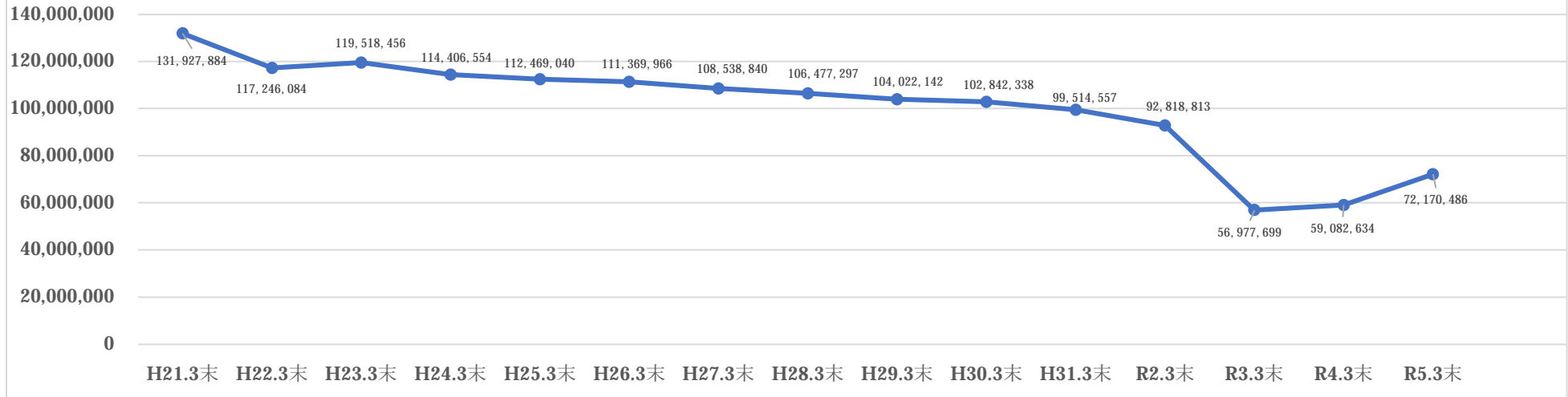
### 3. タクシーの供給量について

- ・ バブル期の実車率は **53.9%**、直近の実績値は **47.5%** で供給不足ではない。
- ・ 規制緩和で車両増加、価格競争、待遇悪化、乗務員不足、結果は供給不足となった。
- ・ 運賃改定により、待遇改善が進み、乗務員数が増加傾向、若年者も増加している。
- ・ タクシー乗務員は保険加入の正規雇用が基本で、ワーキングプアと対極にある。

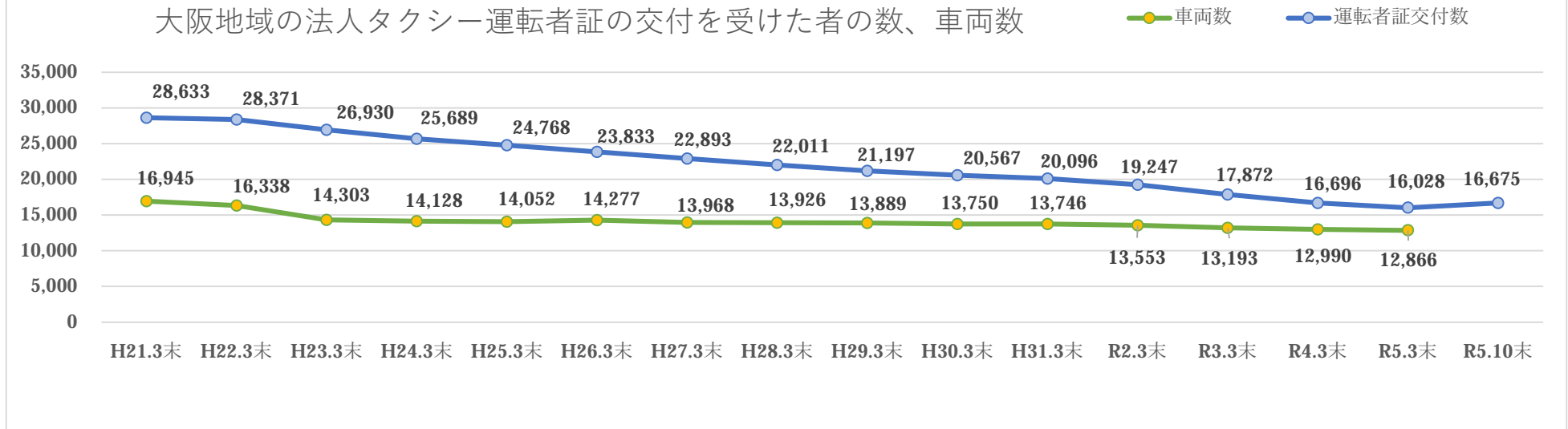
### 4. 万博の来阪者の対応について

- ・ 自動車輸送の増加で対応すると交通渋滞を招き、円滑な輸送を妨げる。
- ・ 地下鉄、徒歩で観光できるように空港とホテル間などの荷物輸送を提案する。
- ・ 個々の事業者では需給調整できないので、タクシー協会とし社会問題に対応する。

### 大阪府下の輸送人員

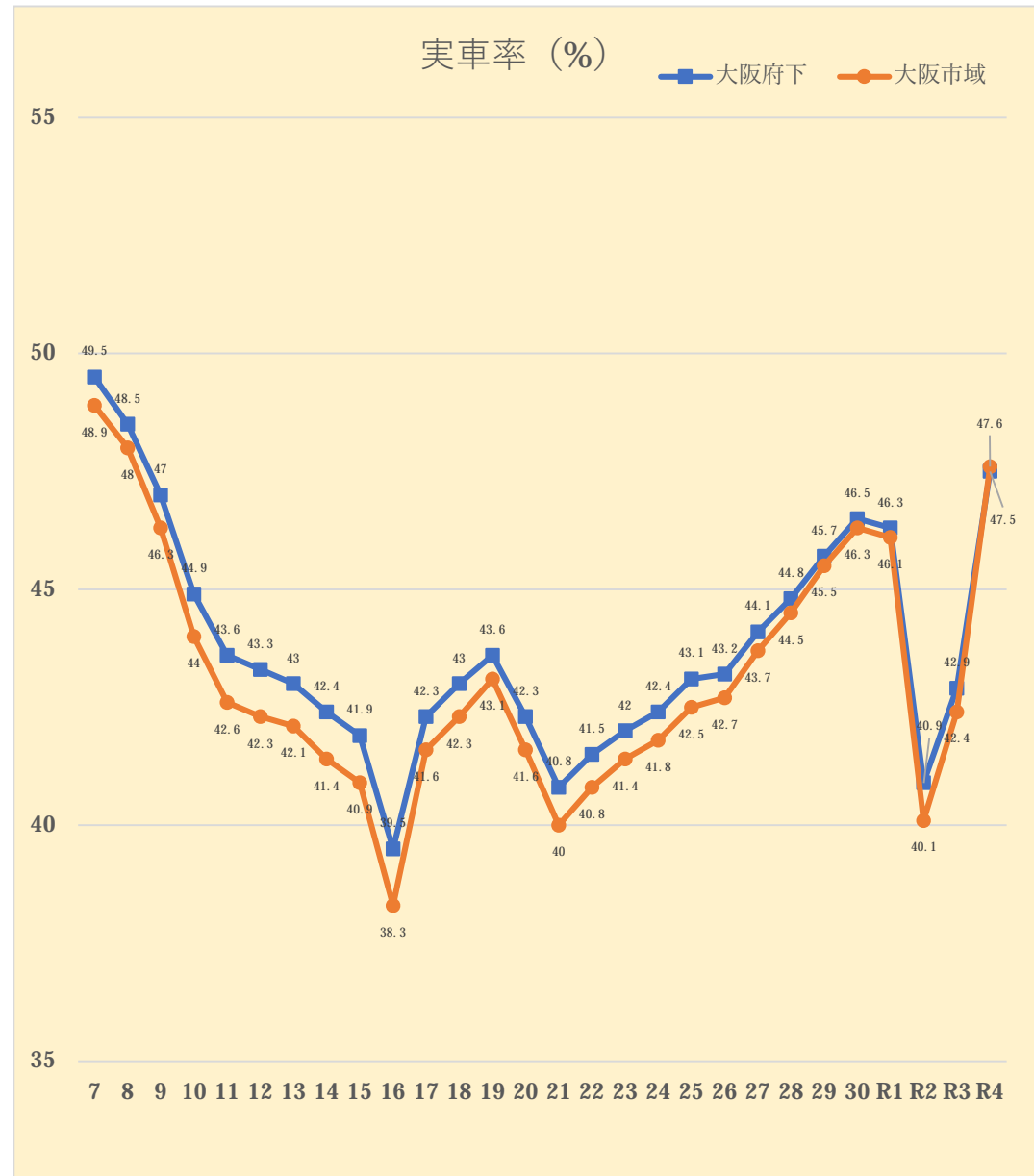
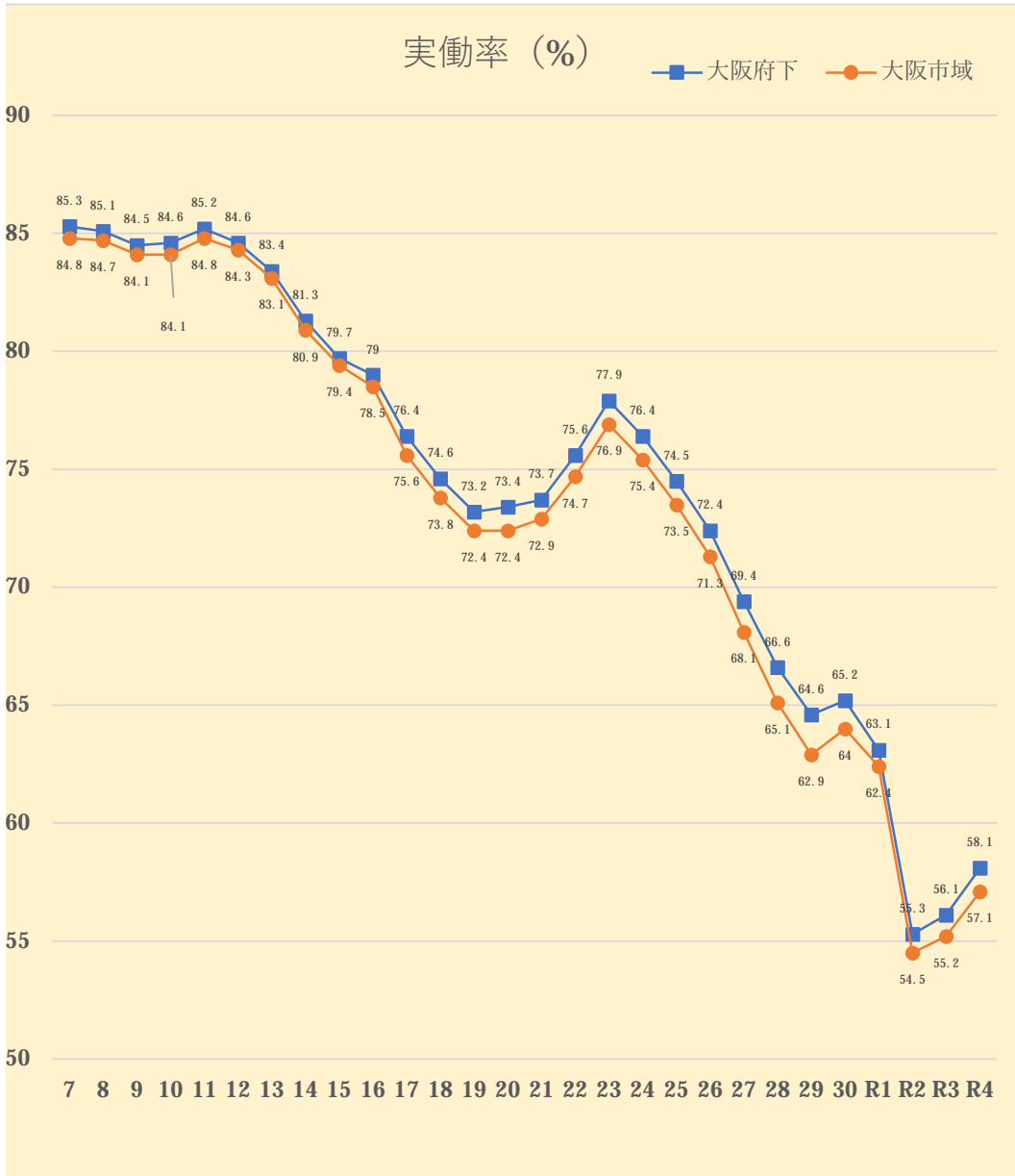


### 大阪地域の法人タクシー運転者証の交付を受けた者の数、車両数

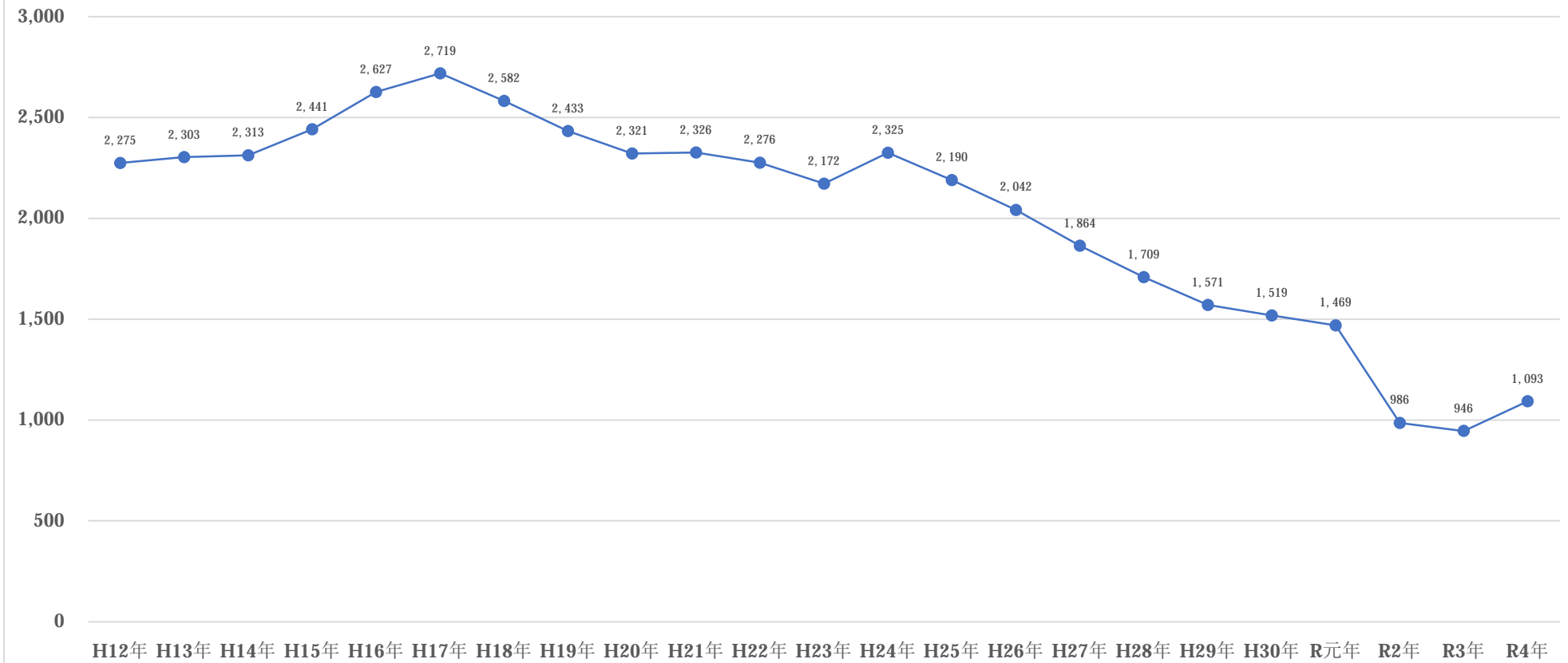


※大阪地域:大阪市域交通圏、北摂交通圏、泉州交通圏の一部地域  
 ※令和5年4月より運転者交付数は上昇基調に転換

# 需要の動向等（実働率、実車率の推移）



大阪府下タクシー交通事故件数の推移



※1 大阪府警察本部資料による